

【福祉保健部会議録フォーマット】

平成 31 年度第 1 回狛江市医療と介護の連携推進小委員会会議録要旨

- 1 日 時 令和元年 9 月 17 日（火） 午後 7 時 30 分から午後 8 時 45 分まで
- 2 場 所 狛江市あいとぴあセンター研修室 A・B
- 3 出席者 委員長 吉川 哲矢 副委員長 大谷 美樹
委 員 大橋 晃太 工藤 敏和 織田 朱美 渡邊 聡
玉虫 千恵 永井 仁子 小川 智行 森 玲子
以上 10 名
事務局 健康推進課健康推進課長（鈴木 弘貴）
健康推進課健康推進係長（保田 朋信）
健康推進課健康推進係主任（市村 留美）
健康推進課健康推進係（大久保 良美）
地域福祉課地域福祉係長（佐渡 一宏）
地域福祉課地域包括ケアシステム推進担当主任
（野村 淳一郎）
- 4 欠席者 委 員 花岡 一成
- 5 資 料 【資料 1】在宅療養後方支援病床確保事業（概要）
【資料 2】平成 31 年度 医療と介護の連携小委員会日程（案）
【資料 3】狛江市高齢者保健福祉計画・狛江市障がい者計画等の改定等のスケジュール（案）
【資料 4】第 4 回多職種連携研修会について
【資料 5】H31 狛江市在宅医療・介護連携相談支援事業委託契約仕様書
【資料 6】平成 30 年度 在宅医療・介護連携相談支援事業 活動状況報告書（月別）
【資料 7】狛江市在宅医療・介護連携相談支援窓口の実績や効果について
【資料 8】切れ目のない医療と介護の提供体制の推進について
<追加資料>在宅医療介護連携相談支援窓口 報告書
- 6 議 題 (1) [報告事項]在宅療養後方支援病床確保事業の利用状況について

【福祉保健部会議録フォーマット】

- (2) [報告事項]平成 31 年度 会議日程について
- (3) [審議事項]第 4 回多職種連携研修会の実施及び準備委員の選出について
- (4) [審議事項]在宅医療・介護連携相談支援事業の継続について
- (5) [審議事項]切れ目のない医療と介護の提供体制の推進について
- (6) その他

7 議 事（議事に先立ち、事務局よりあいさつあり）

(1) [報告事項]在宅療養後方支援病床確保事業の利用状況について

(委員長)

それでは、これより平成 31 年度第 1 回狛江市医療と介護の連携推進小委員会の議事を執り行う。はじめに、在宅療養後方支援病床確保事業の利用状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

<【資料 1】を元に在宅療養後方支援病床確保事業の利用状況について説明
>

実施状況として使用や問い合わせが 0 である。現時点で利用するにあたり改善点、意見等あるか。

(委員長)

先週の土曜日に 1 例あった。私のクリニックの利用者の方で処方調整・検査入院を目的としたものである。

(委員)

レスパイトとしての入院なのか。

(委員長)

レスパイトとしては難しいが、在宅療養の調整や検査という名目であれば慈恵にも対応していただけることになっている。狛江市医師会の在宅医の先生方にも医師会を通じて周知できればと思っている。

ここまでで何か質問や意見はあるか。特になければ、報告事項（1）についてはここまでとする。

(事務局)

報告事項（2）については進む予定だったが、説明を行う地域福祉課の 2 名が都合上到着していないため、最後にまわしたいと思う。

(3) [審議事項]第4回多職種連携研修会の実施及び準備委員の選出について

(委員長)

次に、第4回多職種連携研修会の実施及び準備委員の選出について、事務局から内容の説明をお願いします。

(事務局)

<【資料4】を元に第4回多職種連携研修会の実施及び準備委員の選出について説明>

平成31年度多職種連携研修会準備委員会日程表(案)について開催日時は次の多職種連携研修会の日にちが決定しないと確定できないため空欄にしている。

平成31年度第4回多職種連携研修会開催場所として防災センター、あいとぴあセンター及び西河原公民館ホールの3案あげさせていただいた。例年2月を予定しており、防災センターで行っていたが今年度は施設の空き状況によって防災センターで行う場合は3月になってしまう。

事前にメールにて連絡したが、今年度の多職種連携研修会準備委員の選出も行う。

(委員長)

多職種連携研修会の日程についてだが、昨年度は2月23日の土曜日午後防災センターにて開催した。最初の年度にいくつかの事業所から月初めだと保険請求時期と重なるらしく難しいと言われたため、中旬以降が望ましいと思われる。場所から決めていきたい。意見等あるか。

(副委員長)

あいとぴあセンターは狭いと思う。

(委員)

広さとしては防災センターと西河原公民館ホールだとどちらが広いのか。

(事務局)

面積だけでいうと西河原公民館のほうが広いと思われる。

(委員長)

声の届きやすさとしてはどうか。

(事務局)

マイクを使わないと遠くは届かないと思われる。

(委員)

設備面としてはどうか。

(事務局)

スクリーンに投影などは可能だと思われる。

【福祉保健部会議録フォーマット】

(副委員長)

中央公民館の連絡会で講座室を使っているがそれよりも広いか。

(事務局)

講座室よりも広い。

(委員)

昨年度は何人程参加されたか。

(事務局)

70名ほど。

(委員長)

では多職種連携研修会は月初を外し、広さなども考えると令和2年の2月22日土曜日の西河原公民館ホールの開催でよろしいか。

<全委員承認>

(委員長)

平成31年度多職種連携研修会準備委員会日程、場所については案内の発送などもあるため事務局に組んでいただいてもよろしいか。

(事務局)

了承した。

(委員長)

準備委員会の選出について、今まで持ちまわりで進めてきたが今年度はどう決めるか、意見等ある方はいるか。

前年度準備委員だった方は選出について意見あるか。

(委員)

ケースの内容についてはどのようなになるか

(委員長)

ケースについてはこれから考えるところである。

(委員)

多職種ということで薬剤師や歯科衛生士からも話を聞きたい。

(委員長)

薬剤師の観点からどうでしょうか。

(委員)

多職種ということで今までどおりそれぞれの職種が入っていたほうが良いと思う。

グループワークはどうかと思う。グループワークだけで終わってしまっているのではないか。実務に上手く繋げることができてないように思われる。

【福祉保健部会議録フォーマット】

例えばMC Sを実践的に使ってみるなど。

個人的には大きく流れを変えようということは薬剤師側としてはないと思われる。

(委員長)

選出についてさらに意見ある方はいるか。

(副委員長)

第3回まではケースを中心として参加者が意見を出せるのではないかといいことだったが取り上げたケースに対応する機会はあまりないため、今後似たようなケースに遭遇した際に対応できるようなツールや連携を元に研修ができればいいのではないか。

(委員長)

ここまで話してきて、もし差し支えがないようだったら3年ぶりに委員長をさせていただいてよろしいか。

<全委員承認>

<審議結果>

第4回多職種連携研修会

日時：令和2年2月22日（土曜日）午後

会場：西河原公民館ホール

準備委員（6名）：吉川委員長、渡邊副委員、玉虫委員、永井委員、大谷委員、森委員

(4) [審議事項]在宅医療・介護連携相談支援事業の継続について

(委員長)

次に、在宅医療・介護連携相談支援事業の継続について、事務局から内容の説明をお願いします。

(事務局)

<【資料5～7】を元に在宅医療・介護連携相談支援事業の継続について説明>

平成29年10月からこまえ苑に完全委託している。こちらの事業に関しては令和2年3月31日をもって効力を失うということで、今後の方向性などを検討していただければと思う。また、追加資料はこまえ苑からいただいている。時間あるようであれば説明していただければと思う。

(委員長)

【福祉保健部会議録フォーマット】

追加資料について何か補足事項などあるか。

(委員)

挙げさせていただいた資料は平成 29 年度から先月 8 月までのものをまとめたものである。一番多い相談としては一般的な医療機関に関する相談・紹介が多い。中身は後でお読みいただければと思う。

(委員長)

事務局や追加の資料について質問あるか。

追加資料について今後小委員会で議題になるようなケースだと思われる。次年度以降も小委員会の考えとしては続けていくのが望ましいという形でのよろしいか。

<全委員承認>

(事務局)

財政部局との調整もあるため必ず予算が全額つくかの保証は難しい。決まり次第報告を行う。

(5) [審議事項]切れ目のない医療と介護の提供体制の推進について

(委員長)

次に、切れ目のない医療と介護の提供体制の推進について、事務局から内容の説明をお願いする。

(事務局)

<【資料 8】を元に切れ目のない医療と介護の提供体制の推進について説明>

解決策までは難しいにせよ、課題に対してどのような対応がいいのかなど地域福祉課として知りたい。

(委員長)

この 5 つの課題は前回のフリートークで出た意見である。課題の対応策の検討として 3 点挙げられているが、どの検討方法で進めていくか意見あるか。開催回数も限られているので、考えていく話題としては挙げていただいた 5 つの中から 1 つまたは平行して複数進めていくか、意見あるか。

(委員)

会議が 4 回しかない中で複数は難しいのではないか。

(委員長)

高齢小委員会との合同会議では議題になることはあるのか。

【福祉保健部会議録フォーマット】

(事務局)

事務局で現在考えているものとしては、合同会議として高齢者保健福祉計画の策定に関わるものについて議論いただき、その後2つの部屋に分かれて話し合う時間がある予定になっている。

(委員長)

委員からの意見もあり、全ての課題を検討するというのは難しいと考えるがよろしいか。優先順位をつけたとしても1つもしくは多くて2つになると思うがよろしいか。

<全委員承認>

(委員長)

今回はどの課題にするかまで決めたほうがよろしいか。

(事務局)

もしよろしければどの課題にするかまで決めていただきたい。

(委員長)

緊急性・実現性の高いものから選ぶことになると思う。2、4及び5は特定の職種に関する話題である。ここで出した課題や対応は市の施策に関わるものなのか。

(事務局)

会議で集約した意見に関しては、今後地域福祉含む関係各課で揉んでいくことは可能である。

(委員長)

意見を出していきたいものとしてはどのようなものがあるか。

(事務局)

市への要望などを盛り込んでもいいが、解決策・対応策を中心に考えていただきたい。

(委員長)

2及び4については今後多職種連携についての課題になるため、吸収していきけるテーマではないか。

(委員)

薬剤師会側として体制が整っていないというものも事実である。現状薬局自体が前にでなくても事が済んでいる状態である。そのため、なんとか連携していきたいと思うが、何がニーズとしてあるのかも分かっていない部分である。

(委員長)

「切れ目のない」ということでどのテーマ良いと思われるか。やはり、人と

【福祉保健部会議録フォーマット】

場所の問題もあるので「(1) 精神疾患（重い認知症含む）のある在宅療養患者について」がいいと思われるがよろしいか。事務局もよろしいか。

<全委員承認>

(事務局)

了承した。

(2) [報告事項]平成 31 年度 会議日程について

(委員長)

次に、平成 31 年度 医療と介護の連携小委員会日程（案）について、事務局から内容の説明をお願いします。

(事務局)

<【資料 2～3】を元に平成 31 年度 医療と介護の連携小委員会日程（案）について説明>

今年度は第 1 回が 9 月ということで、第 2 回及び第 3 回については高齢小委員会との合同になる。第 4 回については多職種連携研修会が終了後、報告会及び反省会として開催していきたい。

高齢者福祉保健計画策定及び介護事業計画の策定にむけて、今年度は高齢者福祉保健計画の策定の部分に関して議論をしていただきたいと考えている。第 2 回の合同会議では市民意識調査の設問について議論いただきたいと考えている。

(委員長)

事務局からの説明で質問あるか。令和 2 年度は小委員会全て合同開催ということではよろしいか。

(事務局)

そのようになる。

(委員長)

その場合研修会については継続していくものなのか、それとも年度末会議の振り返りなどで協議して決めていくのか。

(事務局)

方向性については年度末にまた会議していただきたい。

(委員長)

年度末については多職種研修会の準備と合わせてその協議を進めていくということか。

(事務局)

合同会議終了後、各小委員会で分かれて会議する時間もあるためそのような

【福祉保健部会議録フォーマット】

場でも協議を進めていくことができる。

(委員長)

なにかこの点について質問などあるか。なければ議題については前後したが用意されたものはここまでとする。その他についてなにか委員から発言などあるか。

(6) その他

特になし

(事務局)

事務局からの再確認事項として3点確認したい。

①準備委員6名について②多職種連携研修会について③準備委員会について

また、③については事務局で決定後各委員へメールを送るため確認していただきたい。

(委員長)

その他各委員より発言がなければ、本日の平成31年度第1回狛江市医療と介護の連携推進小委員会はこれで終了とする。

<閉会>